

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第193号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年5月13日 16時08分ごろ	
発生場所	兵庫県赤穂市赤穂港 赤穂港第2千鳥防波堤灯台から真方位358° 1,200m付近 (概位 北緯34° 44.5′ 東経134° 22.4′)	
事故等調査の経過	平成22年9月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	砂利採取運搬船 ^{みちびき} 導丸、460トン	
船舶番号、船舶所有者等	134176、導海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底部に擦過傷及び推進器翼に曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、石灰砕砂約1,650tを積載し、船首約3.7m、船尾約5.3mの喫水で、赤穂港において着岸作業中、平成22年5月13日16時08分ごろ、浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、赤穂港において低潮時に着岸作業中、満載状態であったことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、赤穂港において低潮時に着岸作業中、満載状態であったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	